

7/27 第4回定例理事会開催

(1)「個人情報保護管理規則」一部改定
 平成27年9月に改正個人情報保護法が成立し、平成29年5月30日より施行されたことを受けて、パ

ルシステムグループ全体として、法定正に対応した規程や保護方針の見直し作業をすすめ、規則の一部改定を議決しました。

8/1 エコな電気の選び方 電力自由化入門講座

昨年度始まった電力の小売全面自由化。パルシステムもFIT電気(再生可能エネルギー)を中心とした「パルシステムでんき」を設立、2016年10月から組合員への供給をスタートしました。しかし切り替えた家庭は少数派。賢い電気の選び方を学ぶ学習会が開かれました。

も電気の使い勝手は変わらない」などとわかりやすく解説。「環境汚染を次世代におしよけない電力を選ぼう」、そう再認識した学習会でした。



さまざまなデータで、CO2の排出量の現状や、各国の自然エネルギーによる発電量を説明する田中氏(新宿本部)

8/10 貧困ってなんですか? 夏休み特別セミナー 2017

誰もがちょっとしたきっかけで、貧困に陥る可能性があるといわれる時代。「認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい」が、中高生を対象に、貧困問題を考えるセミナーを開催しました。

れるテーマを真剣に話し合う子どもたち。社会の問題に関心ある仲間と、知り合えた1日になりました。



12人の中・高校生が、身近な問題として、「貧困」と向き合いました(新宿本部)

7月 データ 総事業高 **61億4,053万円**
 組合員数: 47万1,829人 予算比103.3% 予算達成

リユース・リサイクル回収率
 ※回収率は2017年4-7月の回収率・供給量

- 商品カゴアップ **83.9%** ↑
- 紙パック **73.2%** ↑
- 資源プラスチック類 **37.1%** ↑
- 卵パック **85.9%** ↑
- ABパック ヨーグルトパック **40.6%** ↑
- リユースびん **59.7%** ↑
- お料理セットトレイ **68.9%** ↑
- 米袋 **37.5%** ↓

はじめませんか? **エコライフ!**
 ※詳しくはパルシステム東京ホームページから

未来を担う次世代のため、子育てしやすい日本に変えよう

病児・小規模保育を展開する「フローレンス」や全国小規模保育協議会の代表であり、内閣府「子ども子育て会議」委員なども歴任する駒崎弘樹さんに、保育問題改善のために私たちにできることを聞きました。



●保育予算の増加を求める声をあげよう!
 少子化は20年前から放置されたままです。フランスなどでは子どもにける予算をGDP比約3%に増やし、少子化に歯止めをかけました。日本は1%台のままです。

2015年度にやっと政府も待機児童問題の解消をめざした政策を打ち出しました。「財源がない」と言い続けたのに増税しなくても実行したのは、「保育圏落ちた」のブログで改善を求める声が高まったからでしょう。

●ワーキングママだけの問題にしない
 一方で、住民が保育園建設を反対するというところもありました。のどもと過ぎれば熱さを忘れるのか、あるいは自分たちのこの子育てと比較して今は恵まれているのか…。しかし、自分の子どもや孫が働きながら子育てしたいと願っていたら、保育環境の改善が必要だと気づくはずですよ。

子育てに専念している親も、私には関係ないと思いがちです。しかし、働いていなくても必要ときに短時間預けられるなど、「グラデーション」のある保育が実現すれば、より子育てしやすいはずですよ。

●みんなで子育てしやすい国に
 待機児童問題に限らず、社会運動は当事者だけでは成果があまりにくいものです。周囲の人たちが伴走者のように応援する…。そんな運動にするためにも、当事者には多くの人に關心をもってもらうための工夫が求められます。
 沈黙は、問題のなさを認めることと同じです。生協のみならず、いっしょに子育て環境の改善を求めていきましょう。

働きながら2度目の保活! 「三歳の壁」をもっと知ってほしい!

- 子育て支援制度で3歳未満児を預かる「小規模保育園」が広がる
- 保育ニーズの高まりを受け、3歳児の入園にも壁
- 少子化に歯止めをかけるためにも、子育て環境の改善を

今月のキーワード

三歳の壁



「保育園落ちた」のブログが話題になってから1年。あれから保育園事情はどうなっているのか、いっしょに考えましょう。

「三歳の壁」とは
 2015年度の子ども子育て支援制度を機に、3歳未満児を対象にした「小規模保育園」が増えました。しかし、小規模保育園を利用できるのは2歳まで(国家戦略特区の一部を除く)。4月までに転園先を見つけないと、情報集めや保育園の見学など、再び「保活」に奔走することに。これがいわゆる「三歳の壁」です。

また、3歳から保育園への入園を希望する人も大勢います。しかし、小規模保育園出身児が優先されるなどで、この時期の保活も容易ではありません。希望の園に入園できず、やむなく仕事をあきらめる人も少なくありません。

子育てしやすい日本に
 三歳の壁の解消のため、保育園の定員拡充や小規模保育園の年齢制限を撤廃するなどの取り組みが進められています。一方、保育士の数の不足や保育の質向上なども重要な課題です。

少子高齢化に悩む日本。その背景には、「出産後に仕事を続けられるか」「保育園に子どもを預けられるか」といった、働く女性たちの不安があります。安心して出産・子育てができる環境に変えていくことを、だれもが自分の問題として考えたいですね。

パルシステム東京の保育園「ぱる★キッズ」来年には足立区でも

組合員からの「パルシステム東京で保育事業も」という要望に応え、「ぱる★キッズ府中」を2014年3月に開園。それに続き、2園目となる東京都認証保育所「ぱる★キッズ足立(予定)」の来春開園に向け、準備を進めています。



産産産地の新潟県巻神で産まれたメダカの卵を孵化させるなど、パルシステム東京ならではの保育を実践。詳しくは、「ぱる★キッズ府中」で検索。

保活とは

職場復帰までに子どもの預け先を決めるための活動を「保活」といいます。行政区によって時期や方法が異なります。一例を紹介します。

10月 情報収集
 1. 役所に行き、自分の「保育ニーズの優先度」などを把握する
 2. 地域の園を見学。特色や入園率などを知る
 3. 職場復帰時期を決める

12月 申し込み
 認可保育園の申し込みは先着順ではないが、早めに提出を

2月 結果発表
 「不承諾」なら、すでに申し込んだ認可外保育園に再度意思を伝えたり、新たな園に申し込む

2~3月 再「保活」
 「不承諾」なら、すでに申し込んだ認可外保育園に再度意思を伝えたり、新たな園に申し込む

アンケート 保活で大変だったことは?
 (複数回答可)

| | |
|----------------|-------|
| 情報収集 | 63.3% |
| 各種申請や手続き | 56.3% |
| 認可保育園などの外出 | 41.9% |
| パートナーの休得 | 12.3% |
| これまでのキャリア継続の不安 | 63.9% |

小規模保育園とは

育休制度の浸透などで出産後も仕事を続ける人が増え、乳幼児を預かる保育園が不足。1・2歳の待機児童問題が深刻になりました。

政府は、保育園に関する規制の緩和や、3歳未満児を少人数預かる園を補助するなどの政策を開始。受け皿として整備したのが「小規模保育園」です。

